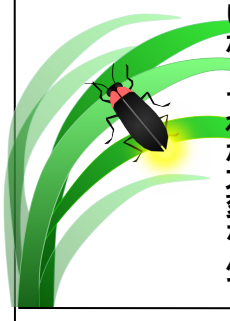
片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL　24-1337
FAX　82-6185
天神教室
TEL　23-1899

何より「論理的思考力」!

もっとも大切なのは本質が何かを理解すること



今号で『片桐英数塾通信』も144号となります。何を中途半端な数字を持ち出しているんだ?と思った人もいるかもしれませんが、144とは十二の二乗ということで、毎月発行の塾通信を年十二回、十二年(干支でいう一回り)も繰り返してきたという、何ともありがたい数字なのです。しかし、我ながらよく書き続けているものだと感心します。

ある程度キリの良い号の塾通信を書く時は、これまであったことを振り返ることが多く、昔、卒塾生とした話を思い出して懐かしがったりもします。今回も、何を書くかを考えながら懐かしくいろんなことを思い出しました。

大学に進学し、大学院に進み研究している子が長期休暇の帰省ついでに塾に顔を出してくれた時、彼の口から出た「研究は大変です。好きな基礎研究だけをやらせてもらえるなら楽しくて仕方ないんですが、成果を出さなければならないからそれが大変なんです」という言葉が今も頭に残っています。学生が「成果」を気にしなくてはならないとは。まるで企業で働く営業が利益・予算・ノルマを気にするように、学生が「成果」を気にしているというのは、どこか私には違和感がありました。しかし、それは何も特別ではなく、むしろ今や当たり前だと言っていたことにも驚きました。

一方で好んで利益を求める?人もいました。当時、彼は中2だったか中3だったかは忘れましたが、塾のブログを始めたばかりの私が「今日は三十人くらいの人がブログを見てくれた」と、得意げに授業で言っておりますと、彼は、「へ? 三十人? 何それ。少な過ぎん?」と、つれない態度。当時、彼は中学生ながらネットでわずかながらも広告収入を得ていたとのことで、そりゃ私の三十人などお話しにもならなかったのでしょう。「中学生がお金を稼ぐのはどうなのか?」と思います。当時も今もあまり良いようには感じていませんが、彼は高校生の時に株式会社を設立し、今はとあるIT企業で働いているとか、そんなことを風の便りに聞き、「本当にそういうのが好きだったんだな」「今の時代はそれもありかもしれない」と思うに至っております。

「マネタイズ」という言葉があります。要は、ネットのサービスをうまくお金に変えることです。正直なところ、私には全く分かりません。それに、お金を稼ぐことをここに書くのもどうかと思ったのですが、これからの時代を考えると、いかにお金を稼ぐか、ということを考えることも必要なように思いましたので、一つの例として書かせて頂きました。

話は変わりますが、卒業した塾生が大学院に進み学会で英語で発表したり、海外に留学したり、世界でいろいろしています。そんな彼らがやってきて、時折口にする言葉に「受験英語がいけないということをよく聞きますが、受験で学んだ英語で不足なくやれてますよ」があります。中学から通っている子には、「嫌なことも続けているうちに感覚がマヒしてきて嫌かどうかも分からんよになってきて、ほんで、知らん間に気持ち良(よ)になっとるもんじゃ」と、半ば嫌がらせのように続けている「塾テスト」と呼ばれるものがありますが、「確かに毎回のテストは辛かったけど、それはそれで語学学習の基本が身について良かった」とうれしいことを言ってくれる子もいます。たぶん、社交辞令でしょうが……。

しみじみと思い出しながら、今という時代に目を移してみると「この数年で随分と変わったなぁ」と思ってしまいます。ですが、本や雑誌やテレビからの情報では、どうやらこれからの方が変化は激しいとのこと。時代が移ろい変わろうとする時には、古今東西例外なく、人の心理は不安になるものなのでしょう。多分に漏れず私の心理もそんなところです。

人々の心理が不安に傾くと、その不安に乗っかる形でいろんなものが現れます。これは私が思っていることですが、英語の早期教育やプログラミン教育も根っこは同じような気がしています。

小学校での英語も教科となり、どんどん早い時期に英語を習う人が増えてきました。それが良いことか悪いことかは分かりません。これからはグローバルでもやれないといけないのだから少しでも早く英語を学ばなければならない、というのはとても分かりやすいお話しです。ですが、ひらがなを覚える前にアルファベットを覚える幼児もいるという話を聞き、「いくらなんでもそれは……」と思ってしまいました。もちろん、ごく一部のケースなのでしょうが……。

「ダブルリミテッド」という言葉を最近聞くようになりました。「ダブルリミテッド」とは第一言語(母国語)の習得が中途半端なときに中途半端に第二言語を学ばせると英語も日本語も中途半端になって論理的思考が身に付きにくいというものです。論理的思考とは、言葉を使って、まるで建物を建てるかのように思考を組み立てていくものだと思います。良い論理を組み立てようとすると、良質の道具であるしっかりとした言葉がどうしても必要です。中途半端な思考力にしてしまわないことを考えると、母国語が固まっていない幼児に対しての英語教育はいかがなものなんだろう、と正直に思ってしまいます。

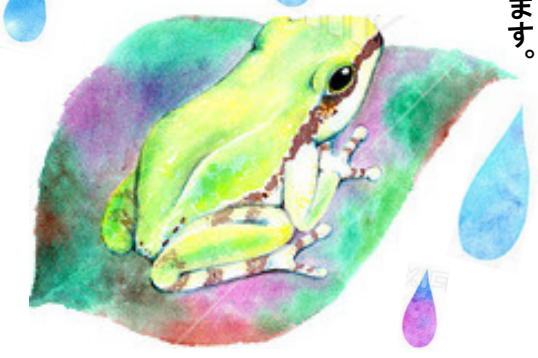
当塾にも「こどもえいご」という小学生を対象にした講座があり、みんな一生懸命に英語を勉強しています。この講座の指導は「日本人の英語学習者としての指導」でありたいと考えています。彼らのアイデンティティのためにも。

英語やプログラミングにしてもこれからの時代、今以上に必要になるのは間違いないと思います。プログラミングは論理と数学の塊です。だから、英語、プログラミングを考える上で、今やっておかなければならないのは「論理的思考力を鍛える」ことだと思います。

「論理的思考力」という幹があって、その幹から、英語であるとかプログラミングであるとかの枝が出ているのだということを、今、あらためてよくよく確認しておかなければならないと思います。

では「論理的思考力」を鍛えるにはどうすれば良いのか?とにかく深く集中した思考を繰り返して頭を使うことだと思います。そのためには、ネット、スマホ、PCを使うのではなく、本を読んで考え、考えを文字に書き出すことが良いのではないかと思います。デジタルデバイスを使うと、ハイパーリンクなどの興味に引っ張られ、一つの思考に集中することを妨げられる可能性が高いからです。

今後、教育改革の名の下、様々なことが変わっていくことになろうとは思いますが、まず何よりも「論理的思考力」を鍛えておくことが大切だと思います。



片桐英数塾からのお知らせ

天神教室・坂本教室の6月のお休みは、3日(日), 10(日), 17日(日), 24日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

塾スタッフ急募!

☆求める人材　子供と接することが好きな方
☆仕事内容　キッズコースの教務補助など
勤務時間については相談に応じます。
週一日からでも大丈夫です。(月曜、土曜)
※面接にて決定致しますので、まずは坂本教室までご連絡ください。

塾生の皆さんでLINE登録がまだの方は、こちらのＱＲコードを読み取り、名前を送信してください。映像授業の予約、変更や面談などの予約、欠席のご連絡などＬＩＮＥでいつでも受付けています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

Copyright © 片桐英数塾. All Rights Reserved.